

「勉強する」と「rian」の対象語の分析 —BCCWJとTNC(Thai National Corpus)を用いて—

木田 真理* (国際交流基金日本語国際センター)

PRAWANG, Khommpat (政策研究大学院大学 日本語教育指導者養成プログラム (修士))

生田 守 (国際交流基金日本語国際センター)

A Comparative Study on Object Words of 'BENKYO-suru' and 'RIAN' Using the BCCWJ and the TNC(Thai National Corpus)

Mari Kida (The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa)

PRAWANG, Khommpat (Graduate Program in Japanese Language and Culture,
National Graduate Institute for Policy Studies)

Mamoru Ikuta (The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa)

要旨

タイ語の教科書や辞書などでは、日本語の動詞「勉強する」の対訳として「rian」が示されているが、タイ語母語話者の内省や学習者の誤用などから、両語は、意味や用法において異なった領域を有していると考えられる。辞書の記述からだけでは明示することができない「勉強する」と「rian」の違いを、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)と、タイ語のコーパス『Thai National Corpus』(TNC)を用いて比較分析を試みた。本発表では、両語の対象語(「__を勉強する」、「rian__」の下線部分)に注目し、両コーパスの共通のジャンルから用例を抽出し、傾向や相違点を探っていく。

1. はじめに

第二筆者は、自らの日本語学習経験、及びタイの大学で日本語授業を行った際の学習者の誤用から、日本語の「勉強する」とタイ語の対訳の「rian」は使い方が異なっているのではないかという問題意識を持つようになった。よく見られる誤用例として、「明日テストがあるのに、本を勉強しない」、「今日寝る前に N3 の本いっしょうけんめい勉強した」「日本語学科を勉強している」(波線は誤用)などがあるが、第二筆者の日本語学習経験からも、辞書や日本語学習用教科書に記載されている情報だけでは、「勉強する」と「rian」の違いがはっきりとはわからない。学習者の誤用について、大曾・滝沢(2003)は、「誤用を訂正するには、訂正者が自らの直観に照らして訂正する方法が考えられるが、もう一つの(より妥当な)方策は、母語話者による大規模な日本語コーパスに依拠する方法である」と指摘し、「学習者の母語話者コーパスが整備されている場合には、それをもとにして、母語との比較を行うことも学習者の誤用指導の上で有益である」と述べている。

本研究では、辞書の記述や母語話者の内省だけでは明確に示すことができない「勉強する」とタイ語「rian」の違いを、日本語とタイ語のコーパスを用いて明らかにすることを目的とする。

2. 研究対象と使用コーパス

辞書に記載されている「勉強する」と「rian」の語義は複数あるが、研究対象とするのは、次の表の語義とする。

* Mari_Kida@jpf.go.jp

べん・きょう【勉強】 学問や技術を学ぶこと。様々な体験を積んで 学ぶこと。 『広辞苑』第6版	rian(動) ¹ 教える人から知識を得る。理解や知識を得る ためや、習熟するために、訓練を受ける。 『タイ国学士院編纂の国語辞典』
---	--

日本語のコーパスは、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(以下、BCCWJ)を、タイ語のコーパスは、『Thai National Corpus』(以下、TNC)を用いる。TNCは、タイのチュラロンコーン大学により、British National Corpusの構成を基に開発されたもので、2009年からインターネット上で一般に公開されている。TNCのホームページに記載されている情報によると、その総語数は、32,010,270語である²。

分析の観点としては、「勉強する」と「rian」の対象語(「_を勉強する」、「rian_」の下線部分)に注目する。「勉強する」と「rian」の対象語をBCCWJとTNCでそれぞれ検索・抽出し、用例中の使われ方を確認した上で、両者を比較検討し、対象語の傾向及び相違点を探る。

3. 調査方法と調査データ

3.1 BCCWJの検索方法とその結果

BCCWJの検索には、「中納言(1.1.0)」を利用した。2つのコーパスを比較対照するためには、検索対象のメディア/ジャンルを合わせる必要がある。TNCはBCCWJよりもメディア/ジャンルが少ないため、TNCに合わせるために、BCCWJの検索対象を「出版・新聞」「出版・雑誌」「出版・書籍」「図書館・書籍」「特定目的・ベストセラー」と設定した。BCCWJの「短単位検索」を用いた検索手順は、検索条件のキーを未指定とした上で、後方共起条件1~3を、「を」、「勉強」、「為る(する)」と指定した。

検索の結果、「勉強する」からは421件の対象語が抽出された。抽出された「勉強する」の例のうち、次の(1)、(2)のような使役文の用例は、ヲ格をとっているが、「勉強する」の対象語ではないため排除した。

- (1) そこから上の教養を身につけさせるには、塾に行かせるなり、私立の中学に入れるなりして子どもを勉強させるしかない。(PB43_00552)³
- (2) 「就職して十年かそこらは、会社はあんた、あんたを勉強させながらただ給料払ってやるようなものなんだよ、...後略...」(OB5X_00232)

その結果、「勉強する」の対象語の用例は419件となった。

3.2 TNCの検索方法とその結果

TNCに収録されている用例は、66.3%が書籍、19.63%が定期刊行物からのものである。TNCの検索画面にはジャンルごとに検索結果が提示されており、今回はその中から「FICTION」「NEWSPAPER」「NON-ACADEMIC」「ACADEMIC」のジャンルで提示されている検索結果の用例を抽出した。検索方法は以下の通りである。

- 1) 検索のキーワードを「เรียน (rian)」と入力する。
- 2) Collocationの検索で「*」(未指定)と入力し、「R1」と設定する。このようにすることにより、「rian」の直後に来る語を調べることができる。
- 3) 全ての検索結果をダウンロードすることができないため、何回かに分けて検索し、全体の検索結果を全て抽出する。このように抽出した全用例を一つのエクセルファイル

¹ rianの日本語訳は第二筆者が翻訳したものである。

² <<http://ling.arts.chula.ac.th/TNC/contents/File/tncstat.txt>>

Counted on 8-1-2013 2014年5月16日参照

³ 用例について、BCCWJはサンプル番号を、TNCはID番号を付記した。

に格納した。

検索の結果、「rian」からは20,389件の対象語が抽出された。この20,389件には、本研究の対象とする「rian」の対象語以外の用例が多く含まれていた。TNCの検索機能は、文字列のみであり、検索条件に品詞を特定することができず、「rian」の後方に名詞句だけではなく形容詞なども抽出された。また「rian」の別の語義としての用例（「拝啓」：別の動詞の前に置き、より丁寧にする機能を持つ）も、「rian」が含まれる単語⁴も大量に抽出された。さらに、検索機能の大きな問題点として、用例が全く同一のものが別のものと認識されカウントされたものもあった。そこで、このような本研究の対象ではない「rian」の用例や重複している用例を、目視によって確認し排除する作業を行った。その結果、「rian」の対象語の用例は1,370件となった。

4. 「勉強する」と「rian」の対象語

4.1 対象語の検索結果比較

BCCWJ及びTNCから、「勉強する」と「rian」の対象語を抽出し、両語の各頻度が1%以上のものをリストアップした結果が表1である。それぞれ抽出件数の多い順に、対象語とその件数、全件数（対象語の用例の件数）に占めるその対象語の割合を、対照させる形でまとめた。「勉強する」の対象語のうち頻度が1%以上のものは、全体419件のうち253件であり、60.4%にあたる。一方「rian」の頻度が1%以上のものは、全体1,370件のうち1,238件であり、90.4%を占めることがわかった。

表1 「勉強する」と「rian」、頻度の割合が1%以上の対象語、および件数と割合

「勉強する」の対象語			順位		「rian」の対象語			
割合	件数	対象語			対象語		件数	割合
					タイ語	日本語訳		
20.8%	87	～語	1	1	napsuu	本	334	24.4%
13.6%	57	～学	2	2	phaasaa_	～語	201	14.7%
9.1%	38	～こと* ¹	3	3	wichaa_	～科目	138	10.1%
2.4%	10	～法	4	4	_saat	～学	101	7.4%
2.4%	10	～(し)方	4	5	ʔarai	何	77	5.6%
2.4%	10	法律		6	phæt	医師	59	4.3%
2.1%	9	何	7	7	thap_ ** ¹	～方面	43	3.1%
1.4%	6	科目* ²	8	8	kaan_ ** ²	～すること	37	2.7%
1.2%	5	理論	9	9	moo	医者	35	2.6%
1.2%	5	疑問詞+か		10	piano	ピアノ	33	2.4%
1.0%	4	～史	11	11	daan_ ** ³	～面(分野)	32	2.3%
1.0%	4	歴史		12	sinlapaʔ	美術	31	2.3%
1.0%	4	絵		13	ruaq_ ** ⁴	～こと	30	2.2%
1.0%	4	会話		14	saai_ ** ⁵	～系	26	1.9%
				15	tham_ ** ⁶	～作り	24	1.8%
				16	khanaʔ_	～学部	20	1.5%
				17	dontrii	音楽	17	1.2%
60.4%	253						1,238	90.4%
100.0%	419						1,370	100.0%

⁴ rian が含まれる名詞や動詞の例は以下である。「rong rian 学校」「nak rian 学生」「puu rian 学習者」「beab rian テキスト」「tamra rian 教科書」「nangsuu rian 教科書」「rian chob 卒業する」「rian tor 進学する」「rian pised 特別な勉強：塾や家庭教師」

*1 糖尿病のこと、音楽のこと、化粧品のこと、色いろなこと、この世界のこと	**1 thap kodmaai(法律の方面)、thap daanthurakit(ビジネスの分野方面)等
*2 一般教養科目、どんな科目、ニガテな科目、教養科目など、その科目、さまざまな学科目	**2 kaan?aan (読むこと)、khaansoon (教えること) 等
	**3 daandontrii (音楽の分野)、daansapkom(社会の分野)等
	**4 ruap rookpuinuap (皮膚病のこと)、ruap maarayaa (行儀のこと) 等
	**5 高校の教育での文系・理科系のこと。saai wit (理科系)、saai sin (文系) 等
	**6 tham khanom (お菓子作り)、tham?aahaan (料理) 等

4.2 対象語の検索結果のカテゴリー化

両語の相違を明らかにするために、表1に示した両語の対象語を、抽出用例の前後200語の文脈の中での使われ方を確認した上で、意味的に類似したものをまとめてカテゴリー化した。その結果を表2に示す。両対象語に共通するカテゴリーとして、「学問・知識」「方法・技術」「疑問詞」を設置した。タイ語だけにあるカテゴリーとしては、「目標である職業」「学校教育のプログラム」「趣味的な習い事」「本」等があった。「勉強する」だけにあるカテゴリーはなかった。

カテゴリー化の際、同じ対象語であっても、文脈上、異なる使われ方をしている場合は、異なるカテゴリーに分類した。「～こと」「絵」「美術」「ピアノ」「音楽」など、表2の()内に用例中の割合の数値が入っているものである。%数値表示のないものは、1つの対象語が一つのカテゴリーにしか分類されていないもので、表1のみに割合を示した。

表2 「勉強する」と「rian」の対象語のカテゴリー分類、及び用例の割合

「勉強する」の対象語	カテゴリー	「rian」の対象語
～語、～学、～こと (4.1%)、法律、科目、理論、～史、歴史、絵 (0.7%) 合計 46.0%	学問・知識	～語、～科目、～学、～方面、～面 (分野)、美術 (1.0%)、ピアノ (0.3%)、～こと、音楽 (0.3%) 合計 41.4%
～(し)方、～法、会話、絵 (0.3%) 合計 6.1%	方法・技術	～すること、～作り 合計 4.5%
何、疑問詞+か 合計 3.3%	疑問詞	何 合計 5.6%
	目標である職業	医師、医者 合計 6.9%
	趣味的な習い事	美術 (1.3%)、ピアノ (2.1%)、音楽 (0.9%) 合計 4.3%
	学校教育のプログラム	～系、～学部 合計 3.4%
	「本」	本 合計 24.4%

4.2.1 両語に共通するカテゴリー

A 学問・知識

分類した結果、対象語のうち、最も多いカテゴリーは、両語とも「学問・知識」であった。このカテゴリーには、次に該当するものを分類した。

「勉強する」の対象語：「～語」、「～学」、「法律」、「科目」、「理論」、「～史」、「歴史」

「rian」の対象語：「～語」、「～科目」、「～学」、「～方面」、「～面(分野)」

具体的な用例は次のような例である。

BCCWJにおける「勉強する」の用例（下線は対象語を示す。以下同様）

- (用例-1) サーハンは大学で政治学を勉強しており、外交官になって国務省に勤め、いずれ大使になるつもりだったと話した。(OB4X_00197)
- (用例-2) ひと通りプログラミングができるようになってから、これら仕組み上のことや理論を勉強する方がよいでしょう。(PB20_00112)
- (用例-3) 「たいへん具体的な話ですけれども、コロンビア大学でグリーリさんご自身が見ておられる範囲で学生さんなどが日本を勉強しようとする傾向はどんなふうに変わっていますか。」(LBo8_00003)

TNCにおける「rian」の用例（訳）⁵

- (用例-4) 親たちが自分の子供たちにタイ語を勉強させたくない。タイ語を知る必要を感じないのだから。(ACSS011)
- (用例-5) 今までしていた活動を、まだ続けている。バンコク大学でマスコミ学を勉強している今でも、その活動をするのは好きだ。(NWCOL04)
- (用例-6) 「彼を応援に行かないの。今日の(授業)2時限は、数学科目を勉強するでしょう。君は(数学が)できるからいいじゃない。」(PRNV072)

さらに、用例の文脈上の意味から考えると、学校教育の中で学問として勉強する場合をさす次のような例も「学問・知識」に分類した。

BCCWJにおける「勉強する」の用例：「絵」

- (用例-7) 私はそのとき、二十二歳で、絵を勉強していて、ニューヨークに憧れる、よくいるタイプの学生でした。いざ就職する段階になっても、やっぱり想いは断ち切れず、ひょいっと、ノースウエスト十八便に乗って、太平洋を越えてしまったのです。(LBj3_00109)

TNCにおける「rian」の用例：「美術」「ピアノ」「音楽」

- (用例-8) 「絵を描くのが好きだから、美術を勉強しようと思う」彼はそう言って、シンラパーコーン大学に入りたいと言った。(PRNV158)
- (用例-9) 国立の大学に入学し、専攻としてピアノを勉強することを選んだ。(PRNV033)

- (用例-10) このテキストで述べた分析方法は、高等教育で専攻として音楽を勉強する人のために、ある程度詳しく分析することになっています。(ACHM070)

また、両語が共通している対象語のうち「～こと」が表1に示したように9.1%あったが、「～こと」の前にある名詞の意味により分類した。その結果、知識を指しているものが、4.1%にあたる17件あり、それらを「学問・知識」のカテゴリーに分類した。

「勉強する」の対象語：糖尿病のこと、日本のこと等。

- (用例-11) 「スチュアートさんのウェールズ人のメイドも、彼は修理が苦手だといっていましたよ。そのことも思い出すべきでした。車が動かなくなったように見せかけたんですね。車が動かなくなったように見せかけたんですね。糖尿病のことを勉強するのが面倒になったのかもしれないな」(PB59_00240)

⁵ 「rian」の対象語の用例は、全て第二筆者が翻訳した。

「rian」の対象語：皮膚病のこと、商売のこと等「rian ruang～」

(用例-12) その時は、皮膚病のことを勉強するなんて考えていなかった。はじめは、単にニキビのことについて考えていた。(NACMD005)

次に「学問・知識」以外のカテゴリーに分類したものの説明を、その用例とともに記す。

B 方法・技術

学問とは異なった技術的なものを、「方法・技術」というカテゴリーに分類した。

「勉強する」の対象語：「～(し)方」、「～法」、「～会話」、「絵」

(用例-13) それまで油絵をキャンバスに描いていたので、初めて紙と絵の具のつきあい方や筆の使い方を勉強することができました。(PM41_00715)

(用例-14) ロベルト沖中さんは、お父さまが七十一年前、京都で墨絵を勉強した方で、ご本人はブラジルで生まれ育ちました。(PB57_00001)

「rian」の対象語：「～すること」(「rian kaan～」)、「～作り」(「rian tham～」)

(用例-15) 当時の文学部の1年生は、皆、文書を書くこと(作文)を勉強するために、グループ分けをした。(PRSH007)

(用例-16) 妹は、今回演じること(演技)を勉強したい、歌を勉強したいと言い出した。僕は、父に妹の好きにさせてと言った。(PRNV016)

C 疑問詞

両語が共通している対象語「何」を「疑問詞」というカテゴリーにし、さらに、「勉強する」の対象語として検索された「疑問詞+か」をまとめた。

「勉強する」の対象語：「何」、「疑問詞+か」

(用例-17) したがって行政法とは一般の私人間の法律関係とどう異なるのかを勉強することとすることもできるのです。(PB43_00696)

「rian」の対象語：「何」「rian ?arai」

(用例-18) あの子、自分のことをあまり話さなかった。何を勉強しているか。学校の休みはどのぐらいなのか... (略) 聞いても答えてくれない。(PRNV081)

4.2.2 「rian」特有の対象語のカテゴリー

次に、「rian」特有の対象語の用例をカテゴリー一別を示す。これらは、「勉強する」の対象語には抽出されなかったものである。TNCの用例の翻訳は全て第二筆者が行った。その際、「rian」直後の名詞は、「名詞+を」で訳した。

A 目標である職業

「pheet (医師)」、「moo (医者)」は、「rian」の対象語として6.9%の用例が抽出された。タイ語の「rian moo (医者)」は、日本語の「医者になるための勉強をしている」、「医学部で勉強している」という表現に近い。ただし、「医者」の他に、頻度が1%未満だったため表1には示されていないが、「教師」、「看護師」等のような職業の用例が抽出された。

(用例-19) 医者になるための勉強をしている僕でも、注射は苦手です。(NACHM078)

(用例-20) ヴィアンさんのおうち、子供がみんな教師になるための勉強をしている。教師になったら、どこに行っても「先生、先生」と呼ばれている。(PRNV)

B 学校教育のプログラム

「～系」、「～学部」を「学校教育のプログラム」というカテゴリーにまとめた。これらは日本語では「～学部で勉強している」という表現になるが、この用例では、前置詞句(thii NP)ではなく、動詞の直後に対象語が置かれ、日本語に直訳すると、「～学部を勉強する」のようになってしまう。

(用例-21) ネースは、ファッションデザイン学部を勉強してきたから、できあがった

服にはかなり細かいところまで表現できている。(NWCOL152)

(用例-22) 伯母が工学を勉強してほしいから、理科系を勉強しなければならない。文科系に入るなんて、考えられない。(PRNV016)

C 趣味的な習い事

「rian」の対象語として抽出された「美術」、「ピアノ」、「音楽」は、文脈上、趣味としてそれらを習う、または、子供の習い事のような意味を指している。従ってこれらを「趣味的な習い事」というカテゴリーに分類した。

(用例-23) 母親は子供にいろいろなアクティビティをさせている。例えば、サッカーを練習させたり、美術を勉強させたりする。(PRSH056)

(用例-24) ... (親たちは大忙し)、朝はピアノを勉強しに子供を送り届けて、その後、子供をまた英語の勉強に連れて行かなければならない。(NWCOL065)

(用例-25) 彼女は、昔、音楽を勉強したことがあるが、まだピアノを曲に弾けないうちにやめてしまった。(PRNV016)

D 「本」

「rian」の対象語として、「nangsuu (本)」は、件数 334 件抽出され、全件数に占める割合が 24.4%と最も多く見られた。しかし、「勉強する」には「本」が対象語になっている用例は抽出されなかった(表 1 タイ語の順位 1 を参照)。

「rian」の対象語として、「nangsuu (本)」は、「本」そのものを勉強するのではなく、以下の用例のように「rian nangsuu」というコロケーションで、「学校で勉強する」という意味で使われる。

(用例-26) 彼女は豊富な家庭からきて、いい教育を受けてきた。いい学校で (rian nangsuu) 勉強し、麻薬とは関わっていなかった。(PRNV016)

(用例-27) 働いている人と、まだ (rian nangsuu) 勉強している人とは、好きになる人のイメージが違う。(POET023)

「rian」と「nangsuu」は結びつきが強く、「nangsuu」は、「rian」の目的語というよりは補語的な役割をしていると考えられる。それゆえ、この「rian nangsuu」というタイ語の影響から、タイ語母語話者の学習者が、「*本を勉強する」という誤用文を書くことが多いと推測される。これは筆者の教授経験とも一致する。

5. 「勉強する」と「rian」の対象語の類似点・相違点

「勉強する」と「rian」の対象語を分類した結果、両語には、対象語に重なりがある部分と、異なる部分があることが分かった。「rian」の対象語で、「勉強する」の対象とならないものは、「本」、「目標である職業」、「学校教育のプログラム」「趣味的な習い事」である。「本」を対象語にとる場合がタイ語ではきわめて多いが、日本語では全く見られなかった。また、「～学部」のような「学校教育のプログラム」に関しては、日本語では対象語ではなく、場所、つまり、対格ではなく場所格で表すという扱いで、「～学部を勉強する」ではなく「～学部で勉強する」と言い表す。さらに、「医者になるための勉強をしている」という場合、タイ語では「rian pheet (医師)」で表すことができるが、日本語ではこのような文は考えられない。また、「趣味的な習い事」でまとめている「習い事」に対しては、日本語では「勉強する」ではなく「習う」が使用される。

6. まとめと今後の課題

これまで見てきたような「勉強する」と「rian」の対象語の違いは、タイ語母語話者の日本語学習者が書いた誤用文にもあらわれる場合がある。日本語の授業の課題として出された日記に、習い事に対して、「水泳を勉強する」、「柔道を勉強する」というような文が見られた。また、「rian」の対象となる「学校教育のプログラム」の誤用例として、「日本語学科を勉強している」という文が見られた。これまで第二筆者は、このような誤用を、単に助

詞の使い方の間違いだと理解し、助詞を訂正していたが、もしかしたら、学習者は、「日本語学科」を「場所」ではなく「対象語」と思って「を」を使用したのかもしれない。

このように、辞書には詳しい意味記述がなく、「勉強する」と「rian」の異なる部分に焦点をあてた記述まではされていないことが、学習者の誤用につながる可能性がある。そこで、タイ語母語話者の日本語学習者には、「rian」を用いて言い表すことができても、全てが「勉強する」に置き換えることができないこと、両語の対象となるものの違いなどを、何らかの方法で示す必要があると考える。この調査結果を、日本語教育の現場へ具体的に還元させるための方法、すなわち、教科書や参考書などでの説明方法や用例の提案、授業の際の用例提示案などについて考えていきたい。

謝 辞

本研究は、国立国語研究所言語資源研究系丸山岳彦准教授にアドバイスをいただきました。深く感謝致します。また、本研究は、日本語教育指導者養成プログラム（修士）（政策研究大学院大学、国際交流基金日本語国際センターの連携大学院）の「特定課題研究」の一部です。

文 献

- 大曾美恵子・滝沢直宏（2003）「コーパスによる日本語教育の研究－コロケーション及びその誤用を中心に－」『日本語学』4月臨時増刊号22巻5号、234-244. 明治書院
- 後藤齊（2003）「言語理論と言語資料－コーパスとコーパス以外のデータ－」『日本語学』4月臨時増刊号22巻5号、6-15. 明治書院
- 砂川有里子（2009）「コーパスを活用した日本語教育研究」『人工知能学会誌』24巻5号、656-664. 社団法人人工知能学会
- 丸山岳彦（2011）「コーパス日本語学」『はじめて学ぶ日本語学』185-202 ミネルヴァ書房
- Wirote, Aroonmanakun (2007) Creating the Thai National Corpus In *MANUSYA: Journal of Humanities*. Special issue No.13, 4-17. Chulalongkorn University.

関連 URL

- BCCWJ（中納言） <https://chunagon.ninjal.ac.jp/search>
- TNC（TNC II） <http://www.arts.chula.ac.th/~ling/TNCII/>